



報道発表資料の配付日時 9月28日(木) 15時00分

発表項目 (行事名)	北方領土プロジェクト“N” 『高校生Nサミット』秋のオンライン会議の実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>1 概要 管内の高校生が北方領土啓発活動のあり方について話し合うオンライン会議を開催。</p> <p>2 日時 令和5年(2023年)10月11日(水) 16:00~17:20</p> <p>3 開催方法 Web会議システム「Zoom」を使用し、根室振興局会場(1階研修室)と参加者の各高校等をオンラインで接続。</p> <p>【添付資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 高校生Nサミット・秋のオンライン会議 実施要領(案) ・資料2 R5年度高校生Nサミットの実施状況 ・資料3 「北方領土プロジェクト“N”」テーマ1『高校生Nサミット』 ・資料4 R4年度高校生Nサミットで制作した北方領土紹介動画の使用実績 <p>※ 実施要領(確定版)、参加者名簿及び会場図等につきましては、後日、情報提供します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【取組のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループワークでは、サミット参加者による体験発表や語り部の講話から得たヒントを踏まえ、効果的な署名活動や啓発のあり方についてアイデアを出し合います。 ○ グループワークで出たアイデアについては、令和6年1月11日(木)に実施する署名活動(高校生キャラバン)において活用し、より効果的な啓発を行います。 </div>		
参考	<p>○ 北方領土プロジェクト“N”について</p> <p>北方領土対策根室地域本部では、北方領土返還要求運動の拠点である根室地域が全国の先頭に立ち、運動を引き継ぐ後継者を育成していくため、「北方領土プロジェクト“N”」と題して高校生に焦点を当てた取組を推進しています。</p> <p>本プロジェクトでは、根室管内の高校生が北方領土問題への興味・関心をもつ「きっかけづくり」として、「高校生Nサミット(テーマ1)」の開催や、管内の高校生が授業や部活動を通じて、北方領土問題や返還要求運動に継続的に関与できる環境を整える「基盤づくり」として、北方領土対策根室地域本部、根室教育局及び根室高校の三者が連携・協力して「Bタスク(テーマ2)」に取り組んでいます。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク		
担当 (連絡先)	北方領土対策根室地域本部北方領土対策室(兼地域創生部北方領土対策課) 伊勢、山本 電話: 0153-24-0278(直通)		

高校生Nサミット・秋のオンライン会議 実施要領（案）

1 目的

根室管内の高校生によるオンライン会議「高校生Nサミット」を開催し、北方領土啓発活動のあり方について話し合う場を設けることで、今後の返還要求運動を牽引していく人材の育成を図る。

2 主催

北海道根室振興局（事務局：北方領土対策課）

3 サミットのテーマ

「同年代の若者に興味を持ってもらえるような署名活動や啓発のあり方」

4 参加者

区分	内訳	参加場所
生徒	調整中 <ul style="list-style-type: none"> ・過去の高校生Nサミット関連イベントに参加した生徒 ・その他、北方領土問題や高校生Nサミットの取組に興味がある生徒 	各高校等 (Zoom)
講師	千島連盟 後継者語り部（予定）	自宅等
道（運営）	地域創生部北方領土問題担当部長、北方領土対策課職員	根室振興局会場

※ 会議の様子は、根室振興局会場（1階研修室）において、取材することができます。

5 実施内容

(1) 日時

令和5年（2023年）10月11日（水） 16:00～17:20

(2) 会場

各高等学校等、Zoomの通信環境が整備されている場所

(3) 日程

16:00	16:05	16:20	16:30	17:00	17:15	17:20
開会	後継者語り部の講話 (15分)	質疑 応答	グループワーク (30分)	発表 講評	閉会	

(4) 内容

① 後継者語り部の講話

北方四島交流等事業に参加した際のエピソードや返還要求運動の取組等についての講話。

② グループワーク

ア アイスブレイク

事前に記入したシートに基づいて自己紹介を実施。

イ 体験発表

サミット参加者による体験発表（初参加者は過去に経験したボランティア体験などを発表）。

ウ 効果的な署名活動や啓発のあり方

体験発表や語り部の講話から得たヒントを踏まえ、効果的な署名活動や啓発のあり方について、アイデアを出し合う。

エ 発表準備

グループで出たアイデアを集約する。

※ グループワークでは、Zoom上に「ブレイクアウトルーム」という小部屋を設け、講師として語り部が各部屋をオンライン上で巡回し、適宜アドバイスを行う。

③ 発表及び講評

グループワークの結果を発表し、その後主催者及び語り部から講評を行う。

④ 閉会

事務局から根室高校「北方領土根室研究会」と一緒に行うことができる活動について紹介し、参加を呼びかける。

6 グループワークで出たアイデアについて

令和6年1月11日（木）に実施する署名活動（高校生キャラバン）においてアイデアを活用し、より効果的な啓発を行う。

R 5 年度高校生 N サミットの実施状況

春（高校巡回北方領土展示会）

<参加者>

14名
（うち、R4年度参加者13名、新規参加者1名）

<生徒の様子>

・展示会場だけでなく、各教室を回って啓発物品を配るなど、生徒自身の工夫が見られた。



夏（体験活動）

<参加者>

14名
（うち、R4年度参加者10名、新規参加者4名）
※複数校での合同活動：3件

<生徒の様子>

・参加生徒同士で連絡先を交換していた。
・自らの体験を発表するなど積極性が見られた。

新規参加者が増加したほか、複数校での合同活動もあったことで、生徒間の交流が図られた。さらに**生徒による自発的行動**も見受けられるようになった。

- 秋のオンライン会議では、R4年度高校生Nサミットの参加者や、今年度からの新規参加者をはじめ、この**取組に興味がある生徒を対象に加えた**上で参加者を募集中。
- 今後も**新規参加者の増加**や**複数校での合同活動による交流の輪の拡大**を目指す。

北方領土プロジェクト“N” テーマ1 令和5年度高校生Nサミット

R5. 9. 28更新



令和5年度事業のポイント

- 1 四半期毎に活動の場を提供 → 回を重ねるごとに経験を積み、啓発スキルがレベルアップする仕組み
- 2 生徒が選択できる活動「啓発×BINGO」を実施 → 必須活動の他に、オプションとしてビンゴ形式で啓発活動を行う
- 3 推薦入試に活用できる活動記録書の作成 → 参加生徒にはアンケートに答えてもらい、その内容を活動記録書にして、フィードバック

STEP1 <春:高校巡回北方領土展示会> ~デジタルサイネージ(R4作成)を活用した啓発実践(初陣)~

- 【日 時】
- ①5/8 (月) ~5/15 (月) 羅臼高校
 - ②5/15 (月) ~5/22 (月) 中標津高校
 - ③5/22 (月) ~5/29 (月) 標津高校
 - ④6/5 (月) ~6/12 (月) 根室高校
 - ⑤6/12 (月) ~6/19 (月) 中標津農業高校
 - ⑥6/19 (月) ~6/26 (月) 別海高校

- 【内 容】
- ・ デジタルサイネージの設置（高校生Nサミット制作映像の放映）及びNサミットの様子を紹介するパネルの展示
 - ・ 展示会初日の昼休みもしくは放課後に、生徒による校内生徒への啓発を実施（30分程度）

STEP3 <秋:オンライン会議> ~春夏の経験を共有し、今後の啓発活動の在り方を考える~

- 【日 時】10/11 (水) (放課後・オンライン開催)
【要請人数】各高校2名程度
【内 容】

- ・ 後継者語り部による講話、冬の「高校生キャラバン」に向けたグループワーク
→ 効果的な署名活動や啓発のあり方を考え、出たアイデアは冬の署名活動で実践する。

STEP2 <夏:体験活動> ~札幌班と地元班に分かれ啓発活動を視察、あるいは研究する~

	札幌班	地元班
【日 時】	8/24 (木) ~8/25 (金)	夏休み期間中
【参加人数】	4名	10名
【内 容】	・ 国民大会・街頭行進への参加 ・ 北方領土サポーターとともに、札幌駅構内で街頭啓発を実施	・ 北方領土啓発施設の見学 ・ 啓発イベントへの参加

STEP4 <冬:高校生キャラバン> ~春夏秋の集大成として、管内中心街で署名活動を実施~

- 【日 時】1/11 (木) (冬休み期間)
【要請人数】各高校2名程度
【内 容】
- ・ 各市町を巡回し、スーパーや役場等で署名活動を実施

高校生キャラバン 行程イメージ

参加校	移動方法	署名場所①	署名場所②	署名場所③
根室高校 別海高校	借り上げバス等	根室市内 (スーパー)	別海町内 (役場)	中標津町内 (ショッピングモール)
中標津高校 中標津農業高校 標津高校 羅臼高校		羅臼町内 (ドラッグストア)	標津町内 (役場)	

START → GOAL

R4年度高校生Nサミットで制作した北方領土紹介動画の使用実績

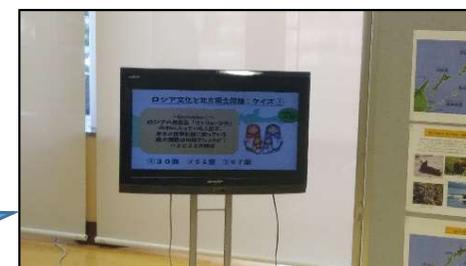
使用期間	使用場所	使用目的
R5年3月2日～	北方領土対策本部公式YouTube	完成動画の公開のため
R5年4月15日～4月16日	札幌ドーム	G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合に併せて開催された「環境広場ほっかいどう2023」での北方領土ブースでの啓発活動のため
R5年5月8日～6月26日	根室高校、別海高校、中標津高校、標津高校、羅臼高校、中標津農業高校	高校巡回北方領土展示会のため
R5年7月23日～8月31日	標津町北方領土館	北方領土返還要求運動強調月間に伴う啓発活動のため
R5年8月1日～8月31日	大地みらい信用金庫本店 ロビー	同上
R5年8月1日～8月31日	道庁本庁舎 1Fロビー	同上
R5年8月1日～	根室振興局 1Fロビー	同上
R5年8月1日～8月31日	十勝総合振興局 1Fロビー	同上
R5年8月1日～8月31日	留萌振興局 1Fロビー	同上
R5年8月2日～8月31日	上川総合振興局 1Fロビー	同上
R5年8月2日～8月31日	メタバース「DOOR」(領対本部)	同上
R5年8月7日～8月31日	道庁本庁舎 1F北方領土ブース	同上
R5年8月7日～8月31日	チカホ 北方領土ブース	同上
R5年8月9日～8月31日	宗谷総合振興局 1Fロビー	同上
R5年8月12日	北方領土返還要求中標津住民大会	高校生との署名活動等に伴う啓発活動のため
R5年8月16日～8月31日	中央バス札幌ターミナル	北方領土返還要求運動強調月間に伴う啓発活動のため
R5年8月16日～	後志総合振興局公式Twitter (Aグループ動画)	同上
R5年8月23日～	後志総合振興局公式Twitter (Bグループ動画)	同上
R5年8月25日	JR札幌駅南口駅前広場	根室管内高校生とサポーターとの啓発活動のため
R5年9月8日～	後志総合振興局公式Twitter (Cグループ動画)	北方領土返還要求運動強調月間に伴う啓発活動のため

施設：20箇所
Web等：5件
(R5.9.28現在)

標津町北方領土館



大地みらい信用金庫本店



中央バス札幌ターミナル



JR札幌駅南口駅前広場



高校生Nサミット・春の高校巡回北方領土展示会 主な取組

	根室高校	別海高校	標津高校
展示期間	R5/6/5 (月) ~6/12 (月)	R5/6/19 (月) ~6/26 (月)	R5/5/22 (月) ~5/29 (月)
参加生徒	3名	2名	3名
啓発内容	啓発物品の配付 パンフレットの配付	啓発物品の配付 パンフレットの配付	啓発物品の配付 パンフレットの配付 エリカちゃん着ぐるみ
活動の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生の部活勧誘を兼ね、生徒自身が作った勧誘チラシを配付した。 ・北方研の生徒（2年生3名、1年生1名）とともに啓発を行った。 ・人通りが少なかったため、手分けして各フロアの教室を回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人通りが多く、啓発物品を受け取った後、そのまま展示を見てくれる生徒も多かった。 ・途中人通りが少なくなると、参加生徒の方から各教室を回ろうと提案するなど、意欲的に参加してくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人通りは少なかったが、通りがかった生徒のほとんどが啓発物品を受け取ってくれた。 ・参加生徒は互いに写真を撮り合うなど、非常に楽しそうに参加していた。
活動風景			

高校生Nサミット・夏の体験活動 主な取組

	2023北方領土返還要求街頭行進への参加	羅臼国後展望塔の見学	「北方領土返還要求中標津住民大会」 における啓発活動
月日	令和5年8月25日（金）	令和5年8月7日（月）	令和5年8月12日（土）
場所	道庁赤れんが庁舎～北4条通～駅前通～大通公園 （西3丁目）	羅臼国後展望塔（羅臼町）	しるべっと広場（中標津町）
参加生徒	根室高校 1名	別海高校 2名	中標津高校 2名
	中標津高校 1名	羅臼高校 1名	中標津農業高校 1名
	羅臼高校 1名	—	—
	中標津農業高校 1名	—	—
内容	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市内中心部で、元島民等とともに北方領土の早期返還を訴える街頭行進を実施。 上記に先立ち、根室高校「北方領土根室研究会」の生徒がデザインした名刺を用いて鈴木直道北海道知事と名刺交換を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 啓発施設の見学 	<ul style="list-style-type: none"> 「北方領土返還要求中標津住民大会」における署名活動及び体験発表
活動の様子	<ul style="list-style-type: none"> それぞれ横断幕やのぼりを持ち、暑い中シュプレヒコールを上げながら街頭行進を行った。 北海道知事との名刺交換では、一人ひとりが言葉を交わし、全員で記念撮影を行った。 参加者同士で連絡先の交換をするなど交流を深めていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の展示内容について説明員へ質問するなど、意欲的に参加していた。 同施設で実施していた「北方領土デジタルカードラリー」にも参加し、デジタルカードを入手していた。 2校からの参加だったが、参加者同士で連絡先の交換をするなど交流を深めていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 署名活動では、千島連盟中標津支部の方々とともに声かけを行い、多くの住民へ署名を呼びかけることができた。 体験発表では、過去に参加した高校生Nサミットの活動について振興局職員からのインタビュー形式で発表を行った。質問に対し、はっきりとわかりやすく発表していた。
活動風景	 	 	 